

幼児の教育 第115巻 第3号 平成28年7月1日発行 ISSN0289-0836

子ども学の源流を次世代につなぐ

幼児の教育

[特集] 保育現場で気になるコトバ考
「葛藤」とは……?

[レポート] こども園をつくる

文京区立お茶の水女子大学こども園の記録
vol.1 設立までの経緯、開園までの取り組み

[子ども学探訪] 幼児の教育アーカイブズとの対話
保育の中の「自然」、「自然」の中の保育

第115巻 第3号 日本幼稚園協会

夏 2016
since 1901



しっかり持ってね
いくよ それ！

子どもの情景

写真

子どもの情景 ①

目次

葛藤できる幸せ ②

特集

保育現場で気になる「トバ考」

「葛藤」とは……？ ④

《view 視野》

葛藤する力の育ちは、心の育ちの

バロメーター 加藤繁美 ⑤

《視点》

子どもの葛藤、私の葛藤、保育の中の葛藤

川崎徳子 ⑨

保育をめぐる葛藤について 湯浅周子 ⑬

葛藤を思想史の中で考える 杉田孝夫 ⑰

《特集 memo》 ⑳

実践研究

私の保育ノート

保育と育児 依田奈津子 ㉒

おばあちゃんの孫育て日誌

それぞれが、楽しく、あれかし 瀧田節子 ㉔

保育エッセイ

四季の子ども ㉖

虫捕り 川田学 ㉘

本棚

古典の散歩道

「あかちゃんのくるひ」

— 親子の「危機」に寄り添う絵本 —

宮下美砂子

㉚

目次

レポート

こども園をつくる

— 文京区立お茶の水女子大学こども園の
記録 — Vol.1
設立までの経緯、開園までの取り組み

宮里曉美

40

子ども学探訪

幼児の教育アーカイブズとの対話 ⑤

保育の中の「自然」、「自然」の中の保育

白井美沙子

49

そこにいる子どもが子どもであるということ ②

「子ども好き」という言説 浜口順子

54

報告

ガボンの幼児教育

JICA(青年海外協力隊)に参加して

西垣友恵

58

子ども学のおはなし

イベント・メディア情報・

読者投稿・編集後記 他

63

葛藤できる幸せ

まど

四月に、新しい子ども・子育て支援システムがスタートした。その直前、保育所入園が決まらなかつた怒りを「保育園落ちた日本死ね」というソーシャルキングな文章で綴った匿名ブログが話題となった。しかもそれに対して首相が、匿名投稿には対応できないという、ある意味典型的な反応を国会でしてくれたおかげで、一気に現在の待機児童問題が世の中に広く取り沙汰され、保育士の待遇改善の必要性について多少なりとも周知されるようになったことは、皮肉だが良い展開だったと言える。それでも政府が「保育定員の規制緩和」という姑息な質低下策しか打ち出さない(四月上旬現在)ことに対しては、心もとない限りである。

今号で「葛藤」を特集した。子どもよりも良い育ちやより良い保育環境を追求する中で葛藤を体験できるのは、本来あるべき姿なのである。規制緩和によって定員オーバーの子どもを受け入れ、子どもの命や安全をせいぜい物理的に守ることが至上課題となってしまうような保育現場では、「葛藤」する時間も許されていないと言えないか。目先の問題ばかりに追われず、社会全体で乳幼児をいかに産み育てるかのグランドデザインが必要なのに違いない。(H)

編集後記

私は今回、特集「葛藤」の写真を選ぶ担当でした。これが本当に一苦勞。これぞ葛藤場面という写真はなかなか見つかりません。はて、葛藤とは何なのだろう？「葛や藤がもつれからむ状態」という辞書の意味に納得しつつ、葛藤の写真を探す中、私はA児の表情をふと思い浮かべていました。

大勢で楽しむ童歌遊びから「もうやめよう」と言って抜けたA児。「私も」と友達が後を追ってきてくれることを期待しているようでしたが、何事もなかったかのように遊びは続いていきました。その様子を遠くからじっと眺めるA児の表情。どうして？でも楽しそう、やっぱり戻ろうか、何て声を掛けたいの？その表情からA児の思いを想像するうちに、これまでのA児の姿がいろいろよみがえってきました。保育者との追いかっけこが大好きだった、一緒に走って少しずつ関係を築いたように思えた、

友達が入ると楽しくないと怒ったこともあった、でもみんなと一緒に楽しさもだんだん感じるようになってきた……。A児の一つの表情の中に、さまざまな思いや背景があり、それを見守る私にもさまざまな感情が湧き起こっていたように思うのです。だから、葛藤とはその瞬間だけで切り取ることのできない時間なのかもしれない、と私は感じるようになりました。そして特集の原稿を読むことによって、私のその思いはさらに確信となりました。葛藤に向き合う時間を積み重ねること、丁寧に振り返ることが、子どもにとっても、大人にとっても、心の育ちにつながる、大事な時間なのでしょう。読者の皆様は、どう感じながら読みましたか。

さて「安心」（春号）から「葛藤」（夏号）と続いてきた特集のテーマ。次の秋号は「探求」です。どうぞお楽しみに。(H)

次号予告 幼児の教育 秋号 2016年9月刊行予定

新企画、新連載が好評！ 充実した内容でお届けします。

特 集 保育現場で気になるコトバ考 11
—「探求」とは…？— 加用文男氏ほか

コーナ 古典の散歩道 第11回 荻原万紀子氏

論 考 保育内容「環境」を考える 松島のり子氏 ※タイトル内容が変更になる場合もあります。

幼児の教育 夏号 第115巻 第3号

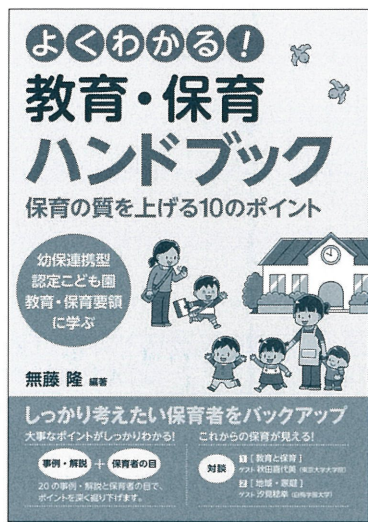
平成28年7月1日発行
編集発行人／浜口順子
編集担当／田中恭子
発行所／日本幼稚園協会
〒112-8610
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発 売 所／株式会社フレーベル館
電話：03-5395-6604(編集)
振 替／00190-2-19640
印 刷 所／図書印刷株式会社
定 価／本体834円＋税
©日本幼稚園協会 2016 Printed in Japan

編 集 委 員／伊集院理子
菊地知子
佐藤寛子
灰谷知子
編 集 協 力／フレーベル館

●ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613(営業)●

イラストも豊富でよみやすい! 明日の保育を見つめなおすためのヒント満載。



ISBN978-4-577-81389-8

よくわかる! 教育・保育 ハンドブック

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に学ぶ
保育の質を上げる10のポイント

編著:無藤 隆

定価1,728円(税込) 21×15cm 144ページ

これからの教育・保育を考える際、保育の質向上のためにおさえておきたい10のポイントを切り口として、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』を読み解きます。『教育・保育要領』のフレーベル館版解説書。

本書の特長

「10のポイント」事例と解説で、 目の前の保育が見える!

ポイント説明／事例と解説／保育者の目で理解が深まる!

★気鋭の研究者がわかりやすく、ていねいに紹介します。

執筆者 (50音順)

大豆生田啓友先生 (玉川大学)
古賀松香先生 (京都教育大学)
松寄洋子先生 (千葉大学)
矢藤誠慈郎先生 (岡崎女子大学)
和田美香先生 (聖心女子専門学校)

対談で、これからが見える!

保育者が、これから考えるべきことが見え
てくる!

★無藤隆先生を対談のホスト役とし、ゲストをお迎えして、注目のテーマについてお話をうかがいました。

ゲスト:秋田喜代美先生 (東京大学大学院 教授)
テーマ:「教育と保育」

古くて新しい、奥行きのあるテーマである「教育と保育」。園や保育者は、今後、どんな点に着目すべきなのでしょう。

ゲスト:汐見稔幸先生 (白梅学園大学 学長)
テーマ:「地域・家庭」

これからの園に求められる役割に、「地域・家庭」へのかかわりがあります。どんなことがポイントになるのでしょうか。

※執筆者の所属は、本書刊行時のものです。

地震、大雨などの自然災害や 虐待、アレルギーへの対応など、

あなたの園のマニュアル作りを しっかりサポート！

保育ナビブック

事例で見る

園の防災・危機管理

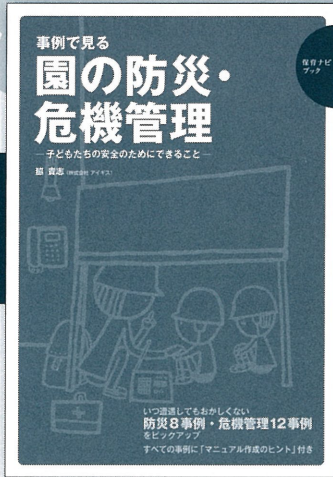
—子どもたちの安全のためにできること—

認定こども園・幼稚園・保育園

これからの防災・危機管理のスタンダードがわかる！

ポイント

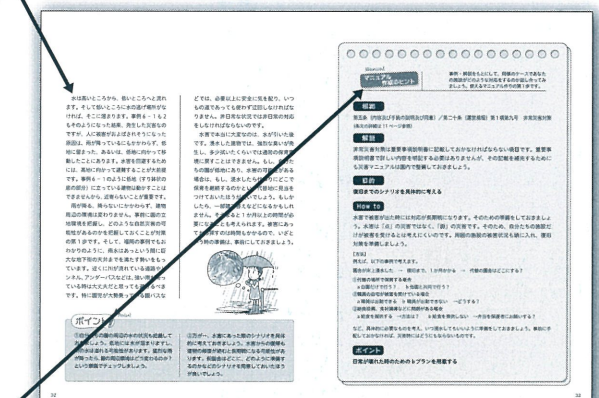
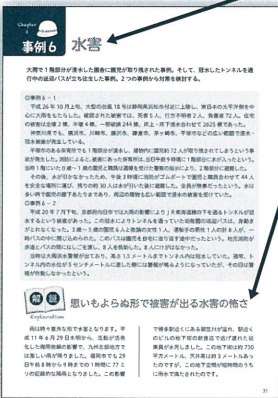
「平成26年内閣府令第39号」（子ども・子育て支援法）に基づく〈特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準〉に即した防災や危機管理に対する考え方に準拠しながら、これからの防災・危機管理のスタンダードを確認できます。事例→解説→マニュアル作成のヒントと読み進めることで、ケースにあわせて、あなたの園独自のマニュアル作りの道筋がわかります。



著： 脇貴志 定価1,944円(税込)
26×18cm 80ページ
ISBN978-4-577-81388-1

事例 防災8事例、危機管理12事例を紹介します。

解説 防災・危機管理コンサルタントの脇氏が、これまでの実務経験を元に、わかりやすく解説します。最後に読み解きのポイントがあります。



株式会社アイギス 代表取締役 脇貴志 氏
園向けに、防災・危機管理についてのコンサルティング事業を行う。日興証券株式会社、AIU保険会社、株式会社アスタリスクを経営独立。
2009年に株式会社アイギスを設立。
年間講演数、約130本。事故相談件数、約1,000件。

マニュアル作成のヒント

事例・解説をもとに、同様のケースで園がどのような対応をするべきか話し合うポイントを紹介し、自園オリジナルの使えるマニュアル作りの第1歩です。

配慮が必要な子どもが増え、クラス運営に悩む保育現場の先生たちのために。お一人に1冊、おすすめします！



「気になる子」の未来のために

要配慮児対応・園での工夫

著: 上原文 (精神保健福祉士)
 定価 2,052円 (税込)
 21×18cm 128ページ

現場で要配慮児にかかわって35年。著者の経験による解説と豊富なカラー写真で、要配慮児の特徴と具体的な対応法がわかります！

ISBN978-4-577-81403-1

イラストと写真がたくさんで
 理解しやすい!

本書は、発達障害のある子どもが園生活で抱える課題や、保育者・保護者がどのように対応すればよいかを、豊富な写真とイラストを交えてわかりやすく解説しています。また、園での実践例も紹介しています。



CONTENTS (一部抜粋)

第1章 「気になる子」について理解を深めましょう

- 子どもたちのために環境や保育スタイルの見直しを
- スケジュールについての考え方
 —もう一度考え直す必要があります
- 生活のリズムを整えることは、すべての基本
 —その意味をもっと伝えていく必要があります
- 生活習慣について考える1<食事>
 —脳の中のネットワークのためにも
- 生活習慣について考える2<着脱など>
- 脳についての基本的なことを学ぶ
- 遊びについて ……

第2章 園での対応。具体的な取り組み

- 朝のおしたく ●先生の立ち位置、ピアノの位置など
- 雨の日の工夫
- 見通しをわかりやすくするための工夫
- 一人ひとりを受け容れる
- 目と手の協応動作のために —持ち物の工夫など
- 保護者への支援・・・「何を」「どう」伝えたらよいか
- 製作などの時に気をつけること ●食事について ……

- 第3章 先生方の実践と園のこれから
- 第4章 保育者のみなさんへおすすめ Books & Movies

幼児の教育 第二一五巻 第三号 平成二十八年七月一日発行

定価 本体八三四円十税